PS1000S
FNFN-EE

特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-PX10
取扱説明書

重要 本機は別売のイヤホンと充電器が必要です。イヤホンを接続しないと正しく起動できません。

アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は免許、資格不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、お使いいただけます。使用方法のほか安全上の注意やアフターサービスについても記載していますので、この取扱説明書は必ず最後までお読みのうえ、保証書など付属書類と合わせて保管してください。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号 サンエイビル4階 TEL.052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります
受付時間/10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日及び12:00～13:00は除きます)
ホームページ https://www.alinco.co.jp/ >事業案内>電子事業部 をご覧ください。

安全上のご注意

◎ 本機を正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。使用者や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、**次の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

＊ 重傷とは、けが、やけど、感電、骨折などの傷害で入院や長期通院をしたり、 後遺症が残ったりするものを指します。
＊ 傷害とは、治療に入院や長期通院の必要がないやけど、けが、感電などを指します。
＊ 物的損害とは、家屋、財産、家畜及びペットなどにかかわる拡大損害を指します。

免責事項について
●天災や人災及び弊社の責任以外の火災、本機の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とはことなる使用方法で本機を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●本機の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた純粋経済損害、また人命救助などを目的とした通信に本機を使用し通信の途絶、故障や誤動作、電池の消耗などにより人命に関わる事態が生じても弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●弊社が関与していない接続機器との組合わせによる誤動作などから生じた損害は、一切の責任を負いません。

■ 共通(本体/内蔵バッテリー/充電器/ACアダプター)

⚠危険

◎ **引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。**
爆発、火災、感電、故障の原因になります。本機は防爆仕様ではありません。

⚠警告

◎ **雷鳴が聞こえたときには、落雷のおそれがありますので、本体、充電器、ACアダプターには触れないでください。**
感電の原因になります。

◎ **分解、改造しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
● 指定以外の機器を充電しないでください。
● 指定以外の充電器を使用しないでください。
● 指定以外のACアダプターを接続しないでください。

◎ **万一、発煙、異臭、異音などの異常がある場合は、使用しないでください。**
継続してお使いになると、火災、感電、故障の原因になります。ACアダプターをご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜き煙が出なくなったことを確認してから、お買い上げの販売店、または、弊社サービスセンターにご連絡ください。

◎ **小さいお子様やペットの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電やけがの原因になります。

◎ **電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。**
電源コードが破損し、火災・感電・やけど・けがの原因になります。

⚠注意

◎ **直射日光の当たる場所や炎天下の車内、空調機器の吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎ **ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。

◎ **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)を絶対に使用しないでください。柔らかい綺麗な布で乾拭きをしてください。**
ケースが損傷したり文字が変色したり、塗装がはがれたりする恐れがあります。また、機器内部に洗剤などが浸透し故障の原因になることがあります。

■ 本体

⚠警告

◎ **医療や介護関連、または空港、鉄道、港湾、放送局、中継局など電波を使用する施設では各施設管理者に事前に問い合わせ、承認を得てください。**
電波障害による機器の誤動作が重大な事故や妨害の原因となります。

◎ **付属品および、弊社指定のオプション品以外を使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

◎ **大きな音量で長時間使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因となります。

◎ **本機を落としたり、壁に当てたりしないでください。**
無理な力が加わり破損し発火、発熱、けがの原因となります。

◎ **本機の定格温度を必ず守ってご使用ください。**
定格外の温度範囲などで使用した場合、故障の原因となることがあります。

◎ **本機の充電端子や充電器の端子に半田付けをしたり、端子間を金属類で接続しないでください。**
火災、発熱、感電、けが、故障の原因となります。

■ 充電器

⚠警告

◎ **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
● 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また水にぬれたときは使用しないでください。
● ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
● 充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。

⚠注意

◎ **次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障の原因になります。**
● 0℃～+45℃以外の環境で使用しないでください。
● 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
● 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。
● 指定以外の電圧で使用しないでください。

■ ACアダプター

⚠警告

◎ **ぬれた手で電源プラグに絶対に触れないでください。**
感電の原因になります。

◎ **ACアダプターや接続ケーブルにキズがある場合、(芯線の露出、断線など)や、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。**
火災、感電、故障、データの消失、破損の原因となります。

◎ **コード類を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、コード類の上には重いものを載せないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **ACアダプターを抜き差しするときは、電源コードを引っ張らないでください。**
火災、感電、やけどの原因となります。

◎ **指定以外の機器にACアダプターを接続しないでください。**
火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

⚠注意

◎ **次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障の原因になります。**
● 0℃～+45℃以外の環境で使用しないでください。
● 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
● 接続機器を使用しない場合、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
● 指定以外の電圧で使用しないでください。
● ACアダプターをタコ足配線状態に接続して使用しないでください。

⚠警告

◎ **指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。**
充電をつづけると、発煙や発火を起こす危険性があります。

◎ コンクリートなどの固い床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎ 購入時に比べ連用時間が極端に短くなったとき、内蔵バッテリーは寿命です。
使用をつづけると、発煙や発火の原因となります。

◎ 使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。
使用を続けると、内蔵バッテリーの破裂、発熱、故障の原因となります。

◎ 満充電になった直後に再充電をしないでください。
繰り返し行うと過充電となり、内蔵バッテリーの破裂、発熱、劣化の原因となります。

⚠注意

◎ 次の注意事項を守らないと、破裂、発熱、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
● 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
● 水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
● 改造、分解をしないでください。
● 落下等の強い衝撃を与えないでください。
● 端子接点部をショートさせないでください。

◎ 次の注意事項を守らないと、破裂、発熱、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
● 本機を満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。長期間本機を保管する場合は、内蔵バッテリーを完全に使い切った状態から1時間程度充電した後、保管してください。
● 本機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

◎ 内蔵バッテリーは出荷時、完全には充電されていません。
● お買い上げ後に充電してからご使用ください。

充電式電池のリサイクル

● 本機は充電式電池使用機器です。内蔵電池の交換は販売店にご相談いただくか、本書の「アフターサービスについて」をご参照のうえ弊社サービスセンターにご相談ください。
● 廃棄の際はお住まいの地域のリチウムポリマー、リウムイオン電池機器の廃棄処理ルールに従ってください。

電磁ノイズ

インバーター回路を内蔵している電子機器およびハイブリッドカー、電気自動車の車内や周辺では電磁ノイズの影響を受けて、正常に動作できないことがあります。
◎インバーターを搭載する代表的な機器
● LED照明機器 ● 電磁調理器 ● 給湯器 ● 自動車の電子機器
● 太陽光発電装置

電波法

◎ 本機は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。本機には右の数字や記号が印字されています。分解しないでください。改造して使うと罰せられます。

◎ 本機に貼付されたラベル類は重要です。次のことにご注意ください。
● 機種名、数字や記号が書かれたラベル類は一切絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。
技術適合の基準から外れ、違法機器とみなされることがあります。
● ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられていたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきた場合はお買い上げいただいた販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。
● ラベル類が意図的に手を加えられていると判断した場合、修理をお断りすることがございます。不法無線局開設の幇助に該当するためですのでご了承ください。

◎ 他人の通信を妨害したり、通話の内容を無断で漏らしたり、勝手に利用したりすることは電波法で禁じられていて、違反すると罰せられます。
◎ 使用できるのは、日本国内に限られています。
◎ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本機を使用しないでください。電磁妨害により機器が誤作動すると、人命にかかわります。

アフターサービス

◎ 保証と保証書
修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店とお客様の間の契約が優先されますのでご 購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入(または専用ステッカー貼付けなど)と、記載の製造番号に間違いがないかをお確かめの上、本書と一緒に大切に管してください。
記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類を一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

◎ **保証期間が過ぎたら**
お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。
アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

◎ **製造終了製品に対する保守年限に関して**
弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後５年です。

◎ **注意事項**
● 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りすることがあります。
● 修理見積や保険用の証明書の発行は、一部有償です。
● 本機には明確に定められた製品寿命はありません。
● 樹脂成型時に細いラインが入ることがありますが、異常ではありません。
● 印字について美観上の問題が無い範囲でわずかなムラがあります。
● 使用条件によって端子部が変色することがありますが、異常ではありません。
● 静電気が溜まりやすい場所や服装で別売のイヤホンを装着するとき、耳に静電気ショックを感じることがあります。ドアノブなどに触れて感じることがあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。

使用上のご注意

■ ご使用環境
高温、多湿、直射日光が当たり続けるところは避けてご使用ください。
本機は防塵防水ではありません。濡れた手や水回りでの使用時は十分ご注意ください。

■ 分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けたりすることは絶対にしないでください。

■ 使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺)
病院や介護施設での使用に制限はありませんが、事前に施設管理者に許可を得てお使いください。
本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

■ 通信距離
通話できる距離は周囲の状況や取り付け方によって大きく異なります。
・河川敷など障害物がない平地、見通しのよい道：200m程度
・市街地や住宅街など障害物が多い所：50～100m程度
・店舗などの建屋内：30～50m程度

注意
・建屋内の縦階層間の通話はフロアが障害物になるため、直線では数十メートルの近距離であっても通信できないことがあります。このような場合は中継器を設置することで通話エリアを広げることができます。
・人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動による影響を受けると通話距離は半分程度まで短くなることがあります。
・トンネルのような閉鎖空間ではUHF電波伝搬の特性により近距離でも通話できないことがあります。

■ グループトーク機能
別機種や他社製の無線機と混用すると、トーン読み取り精度の違いからグループトーク通話ができなくなることがあります。その時は問題が起きにくい０２～３７番の間で番号を変えてみてください。

■ 待機電流
待機電流のためバッテリーが過放電して劣化する恐れがありますので、本機を保管するときは必ずイヤホンを外してください。

■ バッテリーセーブ
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作をするとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の初めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限(3分以上は連続で送信できません)………………………

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。中継通話の場合も連続した中継動作が3分を超えるとタイムアウトします。

注意 3分の通信時間制限により自動的に通信が停止したあとは、約2秒間たたないと送信できません。

キャリアセンス(受信中は送信できません)…………………………

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 「ビープ音 + 音声ガイダンス」をOFFに設定している場合、アラーム音は鳴りません。

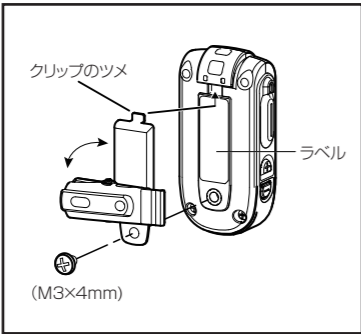
付属品の取り付け方

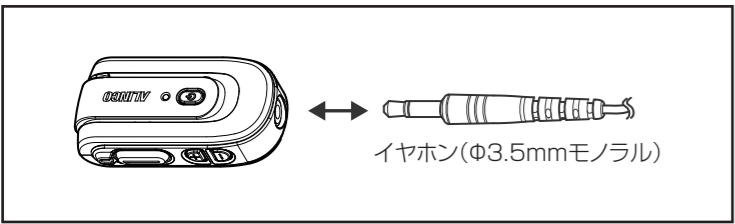
付属品をご確認ください。
□クリップ　：1個(本体装着済み)　□取扱説明書　：1枚
□保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

クリップの取付け/取外し………………………………

クリップは取付済みです。取付けにはプラスドライバー(No.2)が必要です。取付けねじはクリップ部の下にあり、回転させると見えます。取付けるときは図のようにクリップのツメを先に本体の穴に挿入してください。
※製造番号はクリップ下のラベルに記載しています。

注意 標準付属品以外のねじを使うと無線機本体が破損します。規格以外のねじはお使いにならないでください。

[重要]〜お使いになる前に

●内蔵バッテリー
内蔵リチウムポリマー電池は出荷時、十分に充電されていません。ご使用前に別売の充電器で満充電してください。
●イヤホン接続
電源を入れる前に別売のイヤホンを接続してください。接続していないと正しく起動できません。

注意 本機をしばらくご使用にならないときはリチウムポリマー電池の劣化防止のためイヤホンを抜いてください。
■保管と補充電について
リチウムポリマー電池は適度に充電された状態で保管することが最適で過充電や過放電状態は劣化を促進します。減電池時(ランプ：青色点滅)はイヤホンを外して乾燥した冷暗所で保管してください「充電してください」のガイドが聞こえたら、1時間程度補充電してから保管してください。電源を入れて異常がないか点検してください。

充電器(オプション)

別売オプションの充電器を使用して充電する方法を説明します。
●シングル充電スタンド　：EDC-295A (ACアダプター・充電ケーブル付属)
●連結充電スタンド　：EDC-295R (連結ケーブル付属)
●10口充電スタンド　：EDC-296　(ACアダプターと専用充電ケーブルは別売)

シングル充電

①充電ケーブルのmicro USBプラグを充電器背面の電源端子に接続します。
②充電ケーブルのUSBプラグをACアダプターに接続します。
③ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
④充電が始まると本機のランプが赤色点灯し完了すると緑ランプが点灯します。

連結充電

EDC295AにEDC-295Rを連結して最大4個まで同時に充電できます。
①充電器横の結合部を合わせて連結します。
②図のように連結ケーブルを充電器背面の電源端子に接続します。
③充電ケーブルのmicro USBプラグを充電器背面の電源端子に接続します。
④充電ケーブルのUSBプラグをACアダプターに接続します。
⑤ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
⑥充電が始まると本機のランプが赤色点灯し完了すると緑ランプが点灯します。

10口充電

①充電ケーブルの丸プラグを充電器背面の電源端子に接続します。
②充電ケーブルのUSBプラグをACアダプターに接続します。
③ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
④充電が始まると本機のランプが赤色点灯し完了すると緑ランプが点灯します。

メモ 空のリチウムイオンポリマーを満充電するのに要する時間は約2時間です。充電は周囲温度が0℃〜+45℃の屋内でおこなってください。充電するときは本機の電源を切ってください。電源を入れたまま充電すると満充電にならないことがあります。充電が済んだらスタンドから外します。本機および充電器の端子はときどき点検し汚れを取り除いてください。汚れていると接触不良により正常に充電できないことがあります。またランプが赤色点滅した場合は正常に充電が完了していません。清掃と点検をしても充電できないときは販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。

各部の名前とはたらき

前面

背面

キーロックについて：本機にはキーロック機能はありません。
ACSHやクローンで掛かるキーロックはリセットして解除します。

基本操作

ここでは基本的な操作だけを簡単に説明しています。本書に記載していないセットモードや特殊機能は詳細説明書を下記に掲載しています。
http://www.alinco.co.jp/
「 製品情報 ＞ 通信技術 ＞ ダウンロード ＞ 特定小電力無線機 」

音声ガイダンス

チャンネルやグループなどの設定内容を音声ガイダンスでお知らせします。

キー操作

「キーを押す」はしっかり押した後、すぐに離すことを指します。
「キーを長押し」は約2秒間押し続けることを指します。

電源を入れる

電源キーを長押しします。ランプが青色点灯し運用設定をガイドします。
電源を切るときも同じ操作で「ププブ」音が鳴り消灯します。

メモ 電源が入っているときに電源キーを押すと、運用設定を確認できます。

イヤホン断線検知

イヤホンを使用中、起動時にランプが赤緑交互点滅したらイヤホンの異常です。プラグ正しく挿入しているか確認し、直らないときは新品に交換してください。

音量を調整する

ランプが青色点灯時に+/−キーを押すと音量調整できます。キーを押し続けると連続して切替わります。その時に鳴る「ピッ」音が音量の目安です。

注意 イヤホンを使用するときはあらかじめ音量を下げてください。音量を大きくし過ぎると聴力障害の原因となるおそれがあります。小さい音から徐々に上げて調整してください。

送信する

PTTキーを押すと送信開始します。話している間は押し続け、話し終わったら離して受信待ち受けに戻ります。送信中はランプが赤色点灯します。

注意 一定の強さ以上の信号を受信しているときはキャリアセンスがはたらき、「ププブ」と警告音が鳴り送信できません。受信信号がなくなり、ランプが緑色から青色に変わったら送信できます。

呼び出し音(コールトーン)

送信中に+/−キーを押すと呼出音(コールトーン)を鳴らして相手の注意をひくことができます。

受信する

電波を受信するとランプが緑色点灯し、イヤホンから受信音が聞こえます。本機には受信終了時に聞こえる「ザッ」音を低減するテールノイズキャンセラーを採用しています。本機能を採用した弊社製の別機種との通話にも有効です。

チャンネル設定

すべての無線機を同じチャンネルに合わせます。(初期設定：交互通話)
① +キーを押しながら電源を入れます。
② ランプが黄色点灯し「チャンネルを選択してください」とガイドします。
③ +か−キーを押すとチャンネルがガイドされます。
④ PTTキーを押すか約5秒間無操作で「ピッ」音が鳴り設定が完了します。

メモ すでに運用しているグループに本機を導入する場合は、「ACSHモード」を使用するとチャンネルとグループ番号が自動で設定できます。また中継通話の切替はセットモードで行います。
詳細内容は弊社HPに掲載の詳細説明書をお読みください。

グループトーク設定

番号が合致しない別ユーザーの声を聞かずに済みます。全員同じ番号に設定してください。01番と50番は多用されるので避けることをお勧めします。別機種や他社製機種と混用するときは通話不良が起きにくい02〜37番をお勧めします。
① −キーを押しながら電源を入れます。
② ランプが紫色点灯し「グループを選択してください」とガイドします。
③ +/−キーを押すとグループ番号がガイドされます。
④ PTTキーを押すか約5秒間無操作で「ピッ」音が鳴り設定が完了します。

減電池お知らせ

バッテリーが減るとランプが青色点滅してお知らせします。さらに減ると点滅周期が速くなり「充電してください」とガイドします。本機の電源を切り充電してください。

リセット(初期化)

電源を切ります。PTT、+、−キーをすべて押したまま電源を入れます。起動時のガイドが聞こえても5秒ほど押し続けると初期化を知らせ、ランプが白色点灯します。拡張設定は初期化されません。完全に初期化する時は「リセットキー」を参照ください。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない	イヤホンを接続していない	イヤホンを接続してください
ランプが点かない	バッテリーが消耗している	充電してください
音が出ない	音量が低すぎる	適切な音量にしてください
受信できない	相手とチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	相手とグループ番号が違う	同じグループ番号にしてください
	相手と距離が離れている	通信距離を目安に送信してください
送信できない	電波を受信している	電波がなくなってから送信してください
	3分通信制限を超過している	PTTキーを放して2秒経過後に送信してください
充電できない	端子が汚れている	端子の汚れをふき取ってください
	充電池が劣化している	新しい充電池に交換してください

＊充電池の残りが少ないときまれに誤作動することがあります。充電してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EDC-295A	シングル充電器セット	(ACアダプター・充電ケーブル付属)
EDC-295R	連結充電セット	(連結ケーブル付属)
EDC-296	10口充電スタンド	
EDC-300	ACアダプター	(EDC-295A/296共通)
UA0105	充電ケーブル	(EDC-296用)
EME-66B(黒)	カナル型イヤホン	(ケーブル長：約50cm)
EME-67B(黒)	耳かけ型イヤホン	(ケーブル長：約50cm)
EME-67W(白)	耳かけ型イヤホン	(ケーブル長：約50cm)
EBC-59	クリップ	

本機を分解すると技術基準適合から外れ、それを使うと不法無線局となり処罰されます。販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。

定格

送受信周波数	Lチャンネル	421.8125〜421.9125MHz(受信)
		422.2000〜422.3000MHz
		440.2625〜440.3625MHz(送信)
	bチャンネル	421.5750〜421.7875MHz(受信)
		422.0500〜422.1750MHz
		440.0250〜440.2375MHz(送信)
制御チャンネル	422.1875MHz、421.8000MHz(受信)、440.2500MHz(送信)	
電波形式	F3E(FM)、F1D(FSK)	
送信出力	10mW、1mW	
受信感度	−14dBu(12dB SINAD)	
音声出力	50mW以上(8Ω負荷)	
通信方式	単信、半複信	
定格電圧	DC3.7V(リチウムイオンポリマー　260mAh)	
消費電流	送信時：72mA(High)、63mA(Low) 受信定格出力時：92mA 受信待ち受け時：72mA バッテリセーブ時：23mA	
動作温度範囲	−10℃〜+50℃(充電：0℃〜+45℃)	
寸法	高さ56mm×幅27mm×厚さ16mm(突起物除く)	
重さ	約21g(クリップ含む)	
使用時間の目安	約8時間(バッテリーセーブ：オン)	

仕様、定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。乱丁、落丁はお取り替えいたします。

メンテナンス

ケースとイヤホンは家電清掃用ブラシでほこりを落とす、清潔な乾いた布で乾拭きしてください。イヤホン本体は湿らせた布でゆっくり汚れを落としてから乾拭きします。汚れたスポンジやゴムは衛生面からも定期的に新品に交換してください。

DJ-PX10 セットモードマニュアル

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ハンディトランシーバー DJ-PX10 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本書はDJ-PX10をカスタマイズして、より使いやすくするための機能と操作方法をご説明するものです。
ご使用前に付属の取扱説明書と合わせて、必ずお読みください。

本資料の使用に関して……

商標等について………

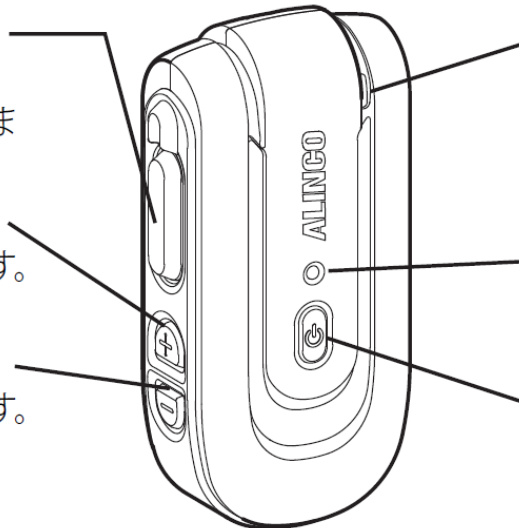
重要なご注意…………

付属の取扱説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で設定していない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本機は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。誤って設定の変更やリセットした場合に「もとに戻したい」と相談されても、もとの設定が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときはすべての無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。DJ-PX10 どうしであれば、1 台だけ設定したらその状態をエアクローン機能で簡単にほかの個体にコピーできます。別紙の特殊設定モードマニュアルをお読みください。

目次

1．セットモード

DJ−PX10の「セットモード」はチャンネルやグループ番号設定とは異なり、意味を正しく理解しないと一部の機能が使えなくなるなど誤動作や故障と勘違いされる可能性があるため、製品に付属の取扱説明書には詳しく記載しておりません。設定前に本書をよくお読みの上、ご不明な点は設定する前に無線機販売店や弊社サービスセンターにお尋ねください。無線機の管理者がおられる場合は自分で勝手に変更せず、先に管理者に相談することをお勧めします。

2．キー配置

メモ 本機ではイヤホンを挿入すると自動的にランプが青色点灯し電源がオンします。

注意 イヤホンを挿入した状態で無線機の電源を切り、即座にイヤホンを取り外し、取り付けしても自動的に電源は入りません。その場合イヤホンを取り外し約５秒待ってからイヤホンを取り付けると自動的に電源が入ります。

3. 設定方法

① 電源を入れた状態で電源キーを2回連続で押します。
② 黄色点滅してセットモードに入り、現在の項目を音声でガイドします。

【セットモードの項目一覧】 **※セットモード(NO. 13)イヤホン断線検知からモニターモードまでは拡張機能です。**

No.	項目	初期値	設定値
セットモード(No. 1)	通話方式	交互通話	交互通話、中継通話(A側のみ)
セットモード(No. 2)	チャンネル	L01	交互通話:L01～L09、b01～b11　中継通話:L10～L18、b12～b29
セットモード(No. 3)	グループトーク	OFF	OFF / 1～50
セットモード(No. 4)	コンパンダー(雑音低減)	OFF	OFF / ON
セットモード(No. 5)	PTTホールド(送信保持)	OFF	OFF / ON
セットモード(No. 6)	VOX(音声検知送信)	OFF	OFF / Low / High
セットモード(No. 7)	コールバック(音声モニター)	OFF	OFF / ON
セットモード(No. 8)	エンドピー(送信終了音)	OFF	OFF / ON / エンドピピ
セットモード(No. 9)	秘話	OFF	OFF / ON
セットモード(No. 10)	ガイダンス音量	Middle	OFF / Low / Middle / High
セットモード(No. 11)	送信出力	High	High(10mW) / Low(1mW)
セットモード(No. 12)	受信音ミュート(接客モード)	OFF	OFF / ハンド / タッチ / ボイス
セットモード(No. 13)	イヤホン断線検知	ON	OFF / ON
セットモード(No. 14)	バッテリーセーブ	ON	ON / LONG / ECO
セットモード(No. 15)	PTT設定	ON	OFF / ON
セットモード(No. 16)	トーンマージン	OFF	OFF(NOL) / ON(SP)
セットモード(No. 17)	マイク音量調整	4	1 ～ 7
セットモード(No. 18)	LED輝度調整	High	OFF / Low / High
セットモード(No. 19)	秘話通信周波数	3.4kHz	2.7kHz ～ 3.4kHz
セットモード(No. 20)	減電池アラーム設定	ON	OFF / ON
セットモード(No. 21)	VOXディレイタイム(送信保持時間)	1	0.5 / 1 / 2 / 3
セットモード(No. 22)	中継接続手順	ON	OFF / ON(AT2)
セットモード(No. 23)	減電池自動オフ	ON	OFF / ON
セットモード(No. 24)	受信音ミュートレベル	4	1 ～ 7
セットモード(No. 25)	受信音ミュート ディレイタイム	15	ハンド・タッチ 5 / 10 / 15 / 30 / 60　ボイス 1 / 2 / 3 / 4 / 5
セットモード(No. 26)	中継ハングアップ	OFF	OFF / 0.5 / 1 / 2
セットモード(No. 27)	中継アラーム	OFF	OFF / ON
セットモード(No. 28)	モニターモード	OFF	OFF / ON

3-1 設定値の切替

セットモード中に"+"か"−"キーを押すと、その項目の設定値が昇順か降順で切り替わります。

3-2 項目切替

セットモード中に電源キーか PTT キーを押すと、項目が昇順か降順で切り替わります。

3-3 設定完了

セットモード中に PTT キーを約 2 秒間長押しするか、無操作 1 分経過で設定が完了して通話モードになります。

3-4 拡張

① 電源オフの状態で PTT キー、電源キーを同時に押して起動します。
② ランプが青色点灯し、「プププププッ」音が鳴ります。
③ 素早く"−"キーを 3 回連続で押すと**(コマンド受付モード)**「ププッ」音が鳴り、セットモードが拡張され、通常は操作できない4－13から4－28までの項目が設定できるようになります。同じ操作で拡張が閉じますが、設定した値は残っており、リセットしないと消すことはできません。

メモ ・②の「プププ…」音が鳴ってから 10 秒経過すると通話モードになります。
・コマンド受付モード中の PTT キーもしくはリセットキーを押すとコマンド受付モードが解除されます。

4. 設定内容

4-1 通話方式

設定値 交互通話/中継通話(初期値:交互通話)
交互通話と中継通話の通信を切替ることができます。

4-2 チャンネル

設定値 交互通話(L01～L09, b01～b11)/中継通話(L10～L18, b12～b29)(初期値:交互通話 L01)
交互通話と中継通話のチャンネルを切替ることができます。

4-3 グループトーク
設定値 オフ/1～50(初期値:オフ)
同じグループ番号に設定したトランシーバーの音声だけが聞こえます。混信やノイズを聞かずに済みます。グループ番号は付属の取扱説明書を参考にキー操作で選択します。ユーザー全員を同じ番号に合わせてください。

4-4 コンパンダー(雑音低減)
設定値 オフ/オン(初期値 オフ)

オンにすると通話中に聞こえる「サー」というかすかなバックノイズを低減することができます。

注意 コンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合にはオン側にしないでください。かえって音質が悪くなることがあります。

4-5 PTT ホールド(送信保持)
設定値 オフ/オン(初期値 オフ)

オンにするとPTT キーを1 度押すと送信状態を継続し、もう1 度押すと待ち受け状態になります。

注意 VOX をオンにしているとPTT ホールドが無効になります。

4-6 VOX(音声検出送信)
設定値 オフ/Low/High(初期値 オフ)

Low(感度:低い)か High(感度:高い)にすると VOX 機能が使えます。PTT キーを押さず、音声で送受信を切り替えられます。マイクに音声が入ると送信、音声がなくなれば待ち受け状態になります。

注意
・話している音声以外で誤送信してしまうような、騒音が大きな場所では使用できません。
・VOX は送信開始までに若干の遅延が起きたり、息継ぎで黙ると受信に戻ったりと話し方に慣れが必要になります。

4-7 コールバック(音声モニター)
設定値 オフ/オン(初期値 オフ)

オンにするとコールバックが設定されます。送信中にイヤホンから自分の送信音声が聞こえます。正しく送信できているか確認しながら通話できます。

4-8 エンドピー(送信終了音)
設定値 オフ/オン/エンドピピ(初期値 オフ)

オンにすると、PTT キーを離したときに「ピッ」と鳴って通話相手に送信が終わったことを伝えるピー音が鳴ります。
エンドピピにすると、受信終了時に、受信の強度(レベル)に合わせてエンドピーを鳴らす機能です。
強いレベルの信号を受信したときは「ピッ」、少し弱いレベルの信号を受信したときは「ピピッ」、非常に弱いレベルの信号を受信したときは「ピピピッ」と鳴ります。

・エンドピピはテールノイズキャンセラーを搭載した弊社製品または、グループを設定した無線機から送信された音声を受信⇒終了時に鳴ります。本機能をオン/オフする際は受信側で設定してください。
・トーンマージンをオンにしている場合は、正しく動作しません。

4-9 秘話設定
設定値 オフ/オン(初期値:オフ)

秘話機能をオンにすると「モガモガ」した声になって通話内容を他人に聴かれにくくなります。ただし他の無線機でも同様の設定をすれば簡単に聴くことできるので、セキュリティは非常に低いものです。

4-10 ガイダンス音量
設定値　オフ/Low/Middle/High（初期値：Middle）

操作時のガイダンス音量を変更できます。

メモ　オフにした場合、セットモード中の項目、設定値案内と起動中の電源キー操作の運用案内の音声ガイダンス以外は強制的にオフになります。

4-11 送信出力
設定値　Low/High（初期値：High）
送信時の送信出力を変更することができます。

Low ：1mW　　送信出力が小さくなります。
High：10mW　　特定小電力無線で許可されている最大の出力です。

4-12 受信音ミュート
設定値 オフ/ハンド/タッチ/ボイス（初期値：オフ）

ワンタッチまたは自分の声で受信音をミュートする（音量１に下げる）機能です。ミュート解除後はもとの音量に戻ります。自動で戻すこともできます。

ハンド：本体マイクの PTT キーを短く押すとミュートがかかります。もう一度押すと解除できます。

タッチ：本体マイクを軽くたたくとミュートがかかります。もう一度マイクを軽くたたくと解除できます。

ボイス：本体マイクに声が入るとミュートがかかります。声が入っている間はミュートを保持し、声がなくなると解除されます。

注意
- **タッチとボイスはバッテリーセーブ機能が働かないため、使用時間が大幅に短くなりますが異常ではありません。限定的な用途にニーズがあるため敢えて採用しています。一般用途にはハンドをお使いください。**
- ミュート状態で何かのキーを押すとミュートが解除されます。
- 受信音ミュートは VOX、PTT ホールドを設定中は使用できません。
- ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐため、一定時間が経つと自動的にミュートが解除されます。
- ハンド設定時は送信開始までに遅延が起こるため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると通話しやすくなります。
- ボイスは音声以外で動作してしまうような騒音の大きい場所では、使用できません。

※4-13 から 4-28　モニターモードまでは拡張機能です。あらかじめ「3-4　拡張」操作を行ってください。

4-13 イヤホン断線検知
設定値 オフ/オン（初期値：オン）

イヤホンの断線を検知する機能です。電源を入れた直後にランプが赤色と緑色に点滅したら、この機能がイヤホンの断線をお知らせしています。新しいイヤホンにご交換ください。オフは外部端子を別の用途に使うとき、この点滅をさせないために設けています。通常はオンでお使いください。

4-14 バッテリーセーブ(BS)
設定値 オン/LONG/ECO(初期値:オン)

待ち受け状態が 5 秒以上続くと電源を内部で自動的に短いスパンでオン/オフさせて電池の消費を抑える機能です。LONG は低消費モード、ECO はさらに低消費モードです。

 ECO ではランプが点滅動作になります。

注意 ・電源オフ状態が長い LONG と ECO では受信音声が頭切れを起こすことがあります。
・VOX や受信音ミュート(ハンド)使用時、ECO 設定は強制的にオン設定に切替わります。
・ECO 設定中のランプ点滅動作時では、音量切り替えができません。一度受信するか、送信するか、POWER キーを押すと切り替えできます。

4-15 PTT オン/オフ機能(受信専用)
設定値 オフ/オン(初期値 オン)

送信を禁止して受信専用にする機能です。オフにするとPTTキーだけでなくVOXでの送信もできません。
(業務無線機用語で受信専用の端末を受令機と呼びます。本機を受令機として使う設定です)

4-16 (グループトーク機能の)トーンマージン設定
設定値 オフ(NOL)/オン(SP)(初期値 オフ)

グループトークは電波に特定のトーン信号を乗せて送信、受信側でこのトーンの違いを読み取って受信させるか判断します。読み取りの精度が本機では非常にシビアになっており、他製品のずれた信号を誤認して動作しなくなることがあります。オンにすると精度が甘くなり、この「相性問題」を回避できることがあります。

注意 オンにすると他のグループ番号の声が聞こえる、通話終わりに「ザッ」音が鳴る、など不便も起こりえます。この項目を変更する前に、比較的問題が起きにくいグループ番号02～37番の内で別のトーン番号に変えてお試しください。

4-17 マイク音量
設定値 1/2/3/4/5/6/7(初期値:4)

通話相手から「聞こえる声が小さい」、「話し声が歪む」といわれるようなときに調整します。小声で話したり、マイクと口の距離が多めな時は設定値を大きく、大声で話したり、マイクと口の距離が近いときは小さくします。

4-18 LED 設定
設定値 オフ/Low /High(初期値 High)

ランプ(インジケーター)の明るさを変更できます。オフの常時消灯は特殊な用途を想定したもので、一般の用途ではお使いにならないでください。

4-19 秘話周波数
設定値 2.7kHz～3.4kHz(初期値:3.4kHz)

秘話の周波数を設定します。初期値のままだと通信内容を他人に聴かれやすいので、変更して聴こえにくくします。通話したいグループ全員を同じ周波数に揃えてください。秘話周波数を変更できない弊社製機種と混用するときは初期値を変更しないでください。

4-20 減電池アラーム
設定値 オフ/オン(初期値:オン)

減電池時に音声で「充電してください」とお知らせします。お知らせが不要なときはオフにしてください。

4-21 VOX ディレイタイム
設定値 0.5/1/2/3 秒(初期値:1 秒)

VOX で送信中、息継ぎなどで声が途切れても送信状態を保持する時間です。長いと通話は落ちにくいですが、話し終わってから受信待ち受けに戻るまでの時間も長くなります。

4-22 中継接続手順
設定値 オフ/オン(初期値 オン)

中継動作自動接続手順を解除する機能です。弊社製中継器をお使いの時や中継器をお使いにならないときは変更する必要はありません。特殊な用途向けの設定項目です。

4-23 減電池自動オフ
設定値 オフ/オン(初期値:オン)

バッテリーの電圧が一定レベルまで下がると自動的に電源を切り、電池の過放電を防ぐ機能です。すぐに再充電できないときは、過放電を避けるためイヤホンを取り外してください。

4-24 受信音ミュートレベル
設定値 1〜7(初期値:4)

受信音ミュートのタッチ、またはボイスを使用時のマイク感度レベルを変更できます。
ミュートが効きにくい場合は設定値を大きく、効きすぎる場合は設定値を小さくします。
「4-17 マイク音量」とは別に設定できます。

4-25 受信音ミュートディレイタイム
設定値　ハンド・タッチ：　5/10/15/30/60 秒　　（初期値 15 秒）
　　　　ボイス　　　　：　1/2/3/4/5 秒　　　　（初期値 3 秒）

ミュートの保持時間を変更できます。

ハンドとタッチではミュートの解除忘れを防ぐための時間設定です。設定時間になると自動的に解除されます。ミュート状態の保持時間を延ばすときは、設定時間を長くします。

ボイスでは息継ぎしても解除しないようにするための時間設定です。ミュートの切り替えを素早くしたいときは短めに設定すると使い勝手が向上しますが、ミュートも解除されやすくなります。

4-26 中継ハングアップ
設定値　オフ/0.5/1/2 秒（初期値 オフ）

子機からの送信が終わっても中継動作（中継器が送信）を継続する時間の設定です。設定した秒数だけ中継動作を継続します。この時間内に別の子機が送信すると接続手順無しでスムーズに通話できますが、通話時間は 3 分タイムアウトにカウントされます。通話テストをして使い勝手をご確認ください。

4-27 中継アラーム
設定値　オフ/オン（初期値 オフ）

中継器から送信する中継動作終了の音を鳴らす設定です。オンにすると中継動作の終了を音でお知らせします。ユーザーごとに、好みに合わせて設定してください。いわば中継器のエンドピーです。

4-28　モニターモード
設定値　オフ/オン （初期値:オフ）

オンにすると、待ち受け中に”+”キー、“ー”キーを同時に押すと「ザー」という音とともにモニター機能になります。
弱い信号や、混信相手の通話をモニターするときに使います。
管理者用の機能であるため、オフでお使いになることをお勧めします。

アルインコ株式会社　電子事業部

DJ−PX10 特殊設定

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ハンディトランシーバー DJ−PX10 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

本書は以下の機能について詳しくご説明するものです。ご使用前に必ず付属の取扱説明書お読みください。基本的な機能や操作の説明はここでは省略していることがあります。

１：ACSH
２：エアクローン
３：スマホアプリ
４：中継器の設定に本機をリモコンとして使う

本資料の使用に関して……

商標等について………

重要なご注意…………

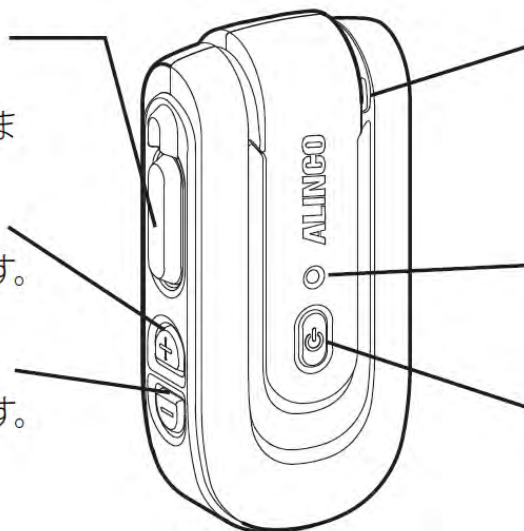
付属の取扱説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で設定していない方は、本書の操作はしないでください。意味も分からず操作すると基本の通話ができなくなります。管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときはすべての無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。DJ−PX10どうしであれば、本書で説明する無償のスマホアプリで１台だけ初期設定して、エアクローン機能でほかの個体に設定内容をコピーすれば簡単です。

目次

1. はじめに

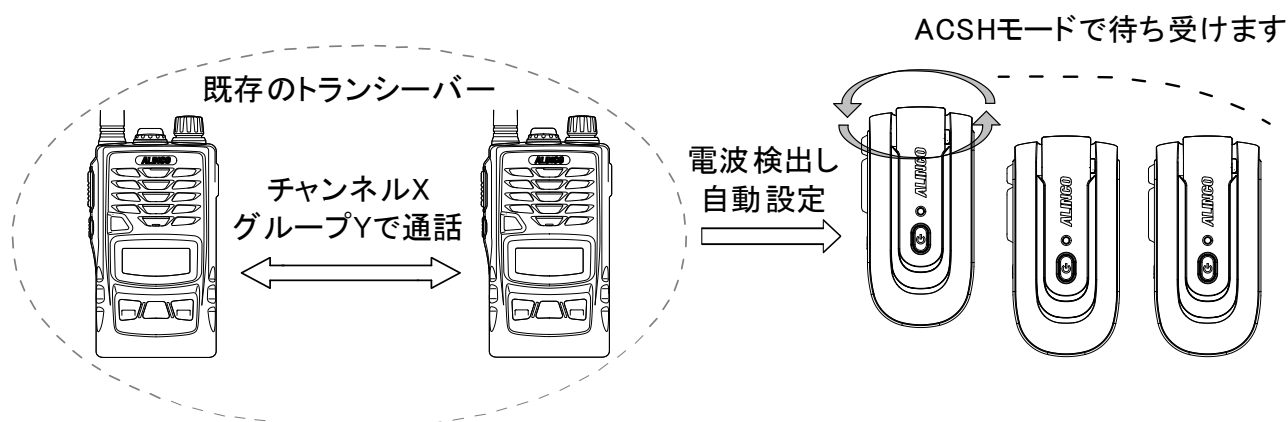
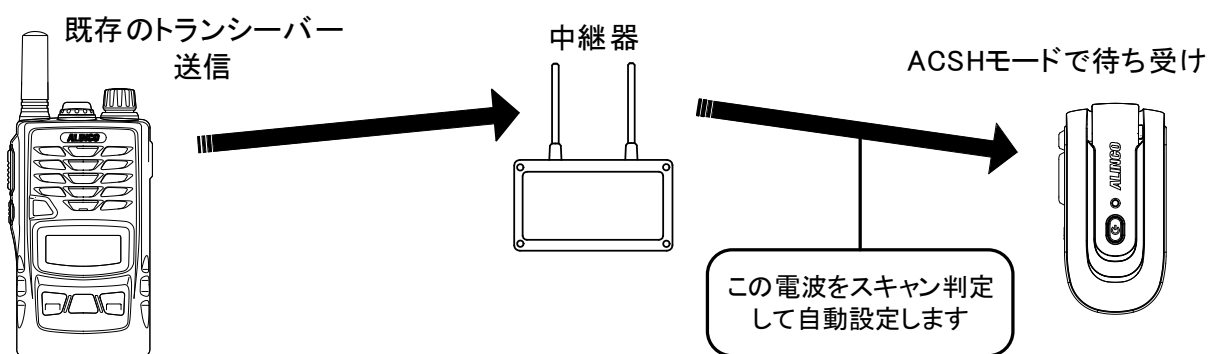
DJ-PX10には前述のような、本製品をより便利に使ったり、簡単に設定したりできる多彩な機能が実装されています。意味を正しく理解しないと設定を済ませた基本の通話ができなくなる可能性があるため、製品に付属の取扱説明書には詳しく記載しておりません。操作を始める前に本書をよくお読みの上、ご不明な点は無線機販売店や弊社サービスセンターにお尋ねください。無線機の管理者がおられる場合は自分で勝手に操作せず、先に管理者に相談してください。

2. キー配置

本機の操作キーの名称です。同梱説明書でも説明しています。

ご注意：ACSHもエアクローンも、事後キーロックがかかります。本機はキーロックだけを解除する機能はありません。キーロック解除したら別の個体でACSHやクローンを行って設定を回復してください。

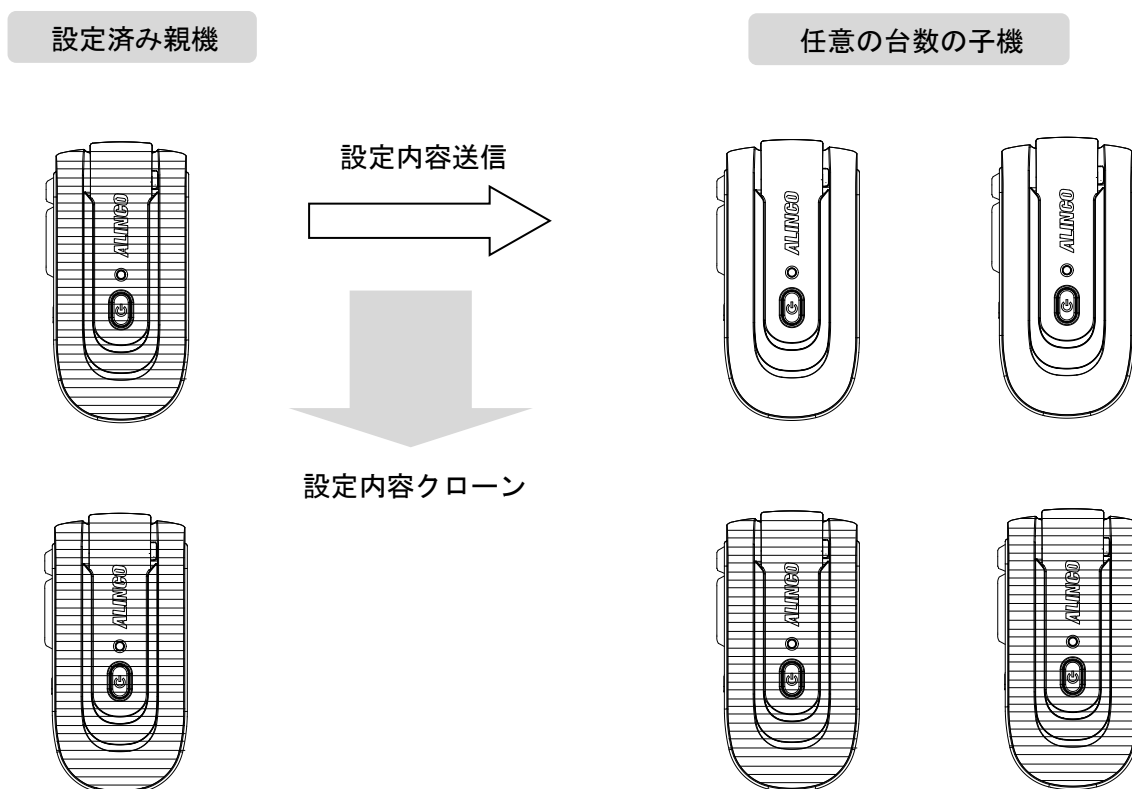
３． ACSH

ACSH（アクシュ）モード：すでに無線機をお使いであれば、他社製も含めてチャンネルとグループ番号を複数台同時に自動設定できます。

［概要］

［中継通話設定］

① 通信方式の設定が完了したマスター機と任意の子機（本機）を用意します。誤判定を防ぐために近距離で作業してください。近くに強力な外来電波があると誤判定することがあります。混信やノイズがないかマスター機でモニターしてください。中継通話の場合はマスター機ではなく中継器の近くで作業してください。（概要図参照）
② 準備ができたら子機の電源を切った状態で電源キーを押し続けます。
いったん電源が入り、ランプが青色点灯してもそのまま5秒間押し続けます。
③「設定もととなるトランシーバーを送信してください」とガイドされたらマスター機を送信します。
④ 数秒から最長で2分程度待ちます。マスター機の設定を検知すると「ピピ」音が鳴り、ランプが青色点滅します。設定が終わると「自動設定が完了しました」に続いてチャンネルとグループ番号をガイドして、緑色点滅し自動的に電源が切れます。
⑤ 電源を入れなおし、正しく通話できるか確認します。正しく自動設定されていない場合は、子機の電源を切って、あらためてACSHを始めてください。

注意
・自動設定中は電源を切らないでください。電源を切ると自動設定せずに停止します。
・ACSHモードを起動し子機が電波を検出しているときは、マスター機のマイクから音声が入らないようにご注意ください。電波が乱されて正常に判定できないことがあります。
・複数同時に自動設定する場合でも送信するマスター機は1台です。複数台で送信しないでください。
・グループ番号の検出時、トーン周波数が近いものは動作が不安定になったり、誤判定することがあります。（例：01番 67Hz、39番 69.3Hz）数回試してみても誤判定する場合は、グループ番号を01～38番の範囲に設定してご使用ください。近いトーンが少ないグループ番号です。中継通話設定でも同様です。
・自動設定後に各種キー操作でのチャンネルやグループの変更はできません。変更する場合は後述のリセットをしてください。その場合自動設定した内容は消去されますのでご注意ください。

4. エアクローン

設定済みの DJ-PX10(以下、親機)から他の DJ-PX10(以下、子機)に、無線で親機の設定内容をすべて転送してクローンします。ACSH と異なり本機間でのみ有効ですが、セットモード項目まですべてクローンします。

【操作】

① 取扱説明書を読み、1 台の設定をすべて済ませて親機にします。後述のアプリを使うと素早くできます。
② 親機と子機、すべてを外来電波が入りにくい場所に電源を切ってひとまとめにします。電池が減っているときは充電しておきます。途中で切れたら再操作が必要になります。
③ 親機と子機すべてに下記の操作をします。一度に任意の数の子機をクローンできます。
電源を切った状態で電源キーと PTT キーを同時に長押し(**コマンド受付モード**)します。途中プププププッ音が聞こえ、ランプが青色点灯後、"−" ⇒ "+" ⇒ 電源 ⇒ "+" ⇒ "−"の順に押します。
ランプが青色と赤色の交互点滅に切り替わり、「エアクローンモードです～」とお知らせします
④ 親機の PTT キーを長押しすると「設定内容を無線通信します」とお知らせして設定情報を送信します。
送信中はランプが赤色点滅します。
⑤ 親機からの設定情報を受信した子機のランプは青色点滅に切り替わります。クローンが終わるまで 20 秒程度かかることがあります。
⑥ 自動設定が完了したら子機のランプが緑色に点滅してチャンネルとグループの番号をお知らせしたあと、自動的に電源が切れます。
⑦ 全ての子機のクローンが済んだら親機の電源を切ります。
⑧ 子機の電源を入れます。正常にクローンされたら起動音の後に「クローン設定」に続き親機と同じチャンネルとグループをお知らせします。

注意 ・自動設定が完了すると、キーロックがかかり各種キー操作での設定変更がすべてできなくなります。
再設定する場合はリセット(初期化)してください。その場合エアクローンで自動設定した内容は消去されますのでご注意ください。
・コマンド受付モード中の PTT キーもしくはリセットキーを押すとコマンド受付モードが解除されます。

リセット:電源オン時にピンのような硬いもので約5秒間押し続けるとランプが白色点滅し「初期化しました」とガイドします。設定内容はACSH、エアクローン、アプリも含めてすべて初期化されます。

5. アプリ設定

弊社が作成した無償アプリ「DJ-PX10」を使って、チャンネル番号やセットモード機能をすべてアプリで設定できます。スマートフォンやタブレット（以下スマートフォン）からデータ情報が載ったピロピロ音を出して、それを本機が読みとるので接続ケーブルは不要、音声ガイドに頼らず、どこでも操作できます。このアプリは外部との通信、個人情報の収集、GPS やカメラなどとの連携は一切しない、単機能のものです。

・アプリは本機の設定すべて（通常・拡張）を書き換えます。「この項目だけ設定変更したい」のような、部分的な変更はできません。項目は全て、実際にお使いになる状態にしてから書き込んでください。
・作成したデータを保存する機能はありません。
・複数の DJ-PX10 に同じ設定をするときは、このアプリでマスター機を 1 台作り、それをエアクローンするのが一番早く、正確で簡単です。

5-1 ダウンロード

アプリ「DJ-PX10」をダウンロードします。

◆Android をご利用の場合

① 「Play ストア」をタップします。
② 画面上部の検索窓に「DJ-PX10」と入力してください。
③ 検索結果に表示された「DJ-PX10」をタップし、インストールします。

◆iOS をご利用の場合

① 「App Store」をタップします。
② 「検索」のアイコンをタップします。
③ 検索窓が表示されるので、「DJ-PX10」と入力してください。
④ 検索結果に表示された「DJ-PX10」をタップし、入手します。

5-2 初期画面

アプリのトップ画面は操作メニューが大きく 2 つに分けられ、初期化と書き込みボタンがあります。

◆Android◆ **◇iOS◇**

詳細は後述します。

① 通常セットモード

音量、チャンネル、グループ、中継通話等のセットモード項目の設定です。

② 拡張セットモード

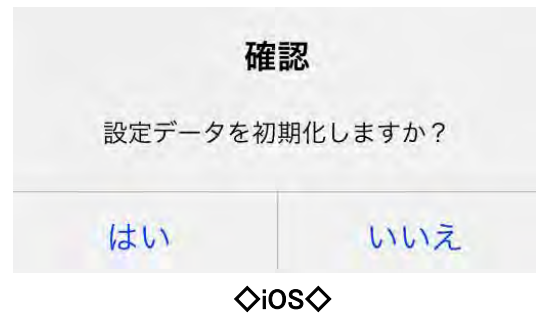
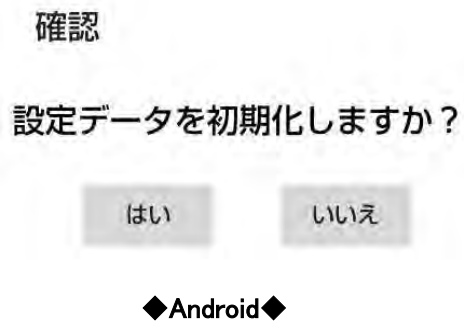
中継器リモコン設定の拡張項目の設定です。

③ 書き込み

書き込みボタンを押すと、設定音がスマートフォンのスピーカーから出力されます。

④　**初期化**　<u>※アプリ画面のリセットです。無線機を初期化するものではありません。</u>

初期化ボタンを押すと、「設定データを初期化しますか」と確認画面が出ます。
「はい」を押すとアプリ画面が全て初期化されます。

◆Android◆　　◇iOS◇

（次のページに続く）

5-3 通常セットモード

通常セットモードの画面です。

DJ-PX10の設定
バージョン 0.1

通常セットモード

音量 15

1. 通信方式 交互通話 中継通話

2. チャンネル L01 (422.2000MHz)

3. グループトーク OFF

4. コンパンダー(雑音低減)

5. PTTホールド(送信保持)

6. VOX(音声検知送信) OFF

7. コールバック(音声モニター)

8. エンドピー(送信終了音) OFF

9. 秘話

10. ガイダンス音量 Middle

11. 送信出力 High(10mW) Low(1mW)

12. 受信音ミュート OFF

◆Android◆

DJ-PX10の設定
バージョン 0.1

通常セットモード

音量 15

1. 通信方式
交互通話 中継通話

2. チャンネル L01 (422.2000MHz)

3. グループトーク OFF

4. コンパンダー(雑音低減)

5. PTTホールド(送信保持)

6. VOX(音声検出送信) OFF

7. コールバック(音声モニター)

8. エンドピー(送信終了音) OFF

9. 秘話

10. ガイダンス音量 Middle

11. 送信出力
High(10mW) Low(1mW)

12. 受信音ミュート OFF

◇iOS◇

メモ ・各設定項目の詳細は別紙の「DJ-PX10 セットモード」を参照ください。

・▼か選択タブをタップすると一覧が表示されます。

・スライドスイッチを押すとオンとオフが切り替わります。 オフ オン

5-4 拡張セットモード

拡張セットモードの画面です。

◆Android◆　　◇iOS◇

メモ

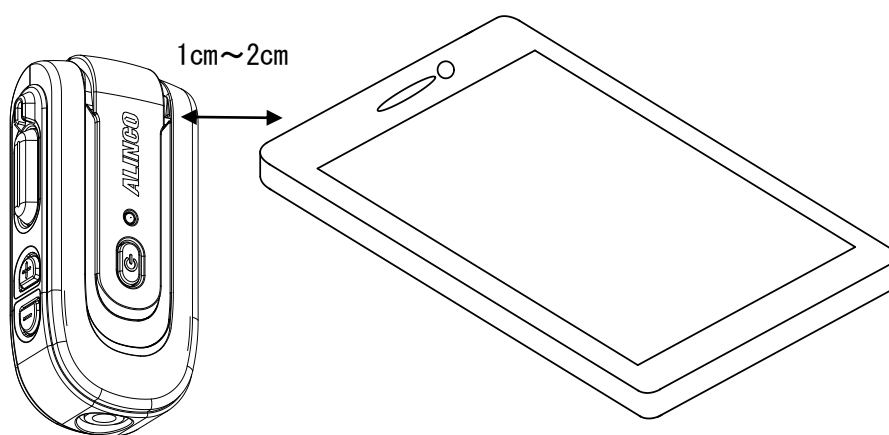
・各設定項目の詳細は別紙の「DJ-PX10 セットモード」を参照ください。

・▼か選択タブをタップすると一覧が表示されます。

・スライドスイッチを押すとオンとオフが切り替わります。　オフ　オン

5-5 本体へのデータの書き込み

以下の操作をして本機の「アプリ設定モード」を起動させ、データを本機に書き込みます。
・環境音が大きいところではデータ送信音が正しくマイクに入らなくなるので、静かな場所で操作してください。
・設定中ずっとピロピロ…と音が鳴ります。周りにいる方の迷惑にならないようご配慮ください。

① スマートフォンの音量を大きめに設定しておきます。
② 電源オフからランプが青色点灯するまで PTT キー、電源キーを同時に長押し(**コマンド受付モード**)します。
③ キーを離し「プププププッ」音が鳴ったあと 10 秒以内に、キーを「"−" → "+" → 電源 → "+" → "+"」の順番で押すと「アプリ設定モードです…」とガイドします。
④ ガイドが終了し、ランプが赤色点灯に切り替わったら、本機のマイク側がスマートフォンのスピーカーに向くようにして、1cm～2cm の距離に近づけます。
⑤ アプリの「書き込み」ボタンを押して、本機のランプが緑色に点灯することを確認してください。ピロピロ音が鳴り、データを転送します。

・ランプが赤色点灯、または「設定音が正しく認識できません・・・」とお知らせしたら、スマートフォンからの音が小さすぎます。音量を再調整してから、ガイド音声がないときに再度書き込みボタンを押してください。

・ランプが黄色点灯し、「データ受信に失敗しました。・・・」とガイドした場合は、同じようにガイド音声がない時に再度書き込みボタンを押してください。

⑥ 書き込みが完了したらランプが緑色点滅になり、チャンネルとグループの番号をガイドして自動的に電源が切れます。
⑦ 本機の電源を入れます。起動音の後に「アプリ設定」に続き、設定したチャンネルとグループ番号をガイドします。正しく送受信できることを確認してください。

注意 ・満充電してから操作してください。設定中に電源が切れた場合、正しく設定されないことがあります。
・自動設定が完了するまで最大で 15 秒程度かかります。
・自動設定が完了すると、キーロックがかかり各種キー操作での設定変更がすべてできなくなります。
設定する場合はリセット（初期化）してください。その場合アプリで設定した内容は消去されますのでご注意ください。
・アプリの設定内容は保存できません。すべての作業が終わるまでアプリを終了しないでください。
・コマンド受付モード中の PTT キーもしくはリセットキーを押すとコマンド受付モードが解除されます。

リセット：電源オン時にピンのような硬いもので約5秒間押し続けるとランプが白色点滅し「初期化しました」とガイドします。設定内容は ACSH、エアクローン、アプリも含めてすべて初期化されます。

６． 中継器や連結中継器を単体使用するときのリモコン操作

DJ-PX10 はリモコン対応する中継器（DJ-P101 など）や、連結中継器（DJ-U3R など）を単体使用するときの設定用リモコンとしてお使いになれます。

6-1 設定項目

中継器に設定したいチャンネル・グループトーク番号・セットモードの項目を本機に設定します。設定できる項目と値は以下の通りです。

① チャンネル（セットモード No.2）
設定値：L10～L18、b12～b29（初期値：L10）

② グループ番号（セットモード No.3）
設定値：オフ、01～50（初期値：オフ）

③ 中継接続手順（セットモード No.22）
設定値：オン/オフ（初期値：オン） ※機能を理解して意図的に変える場合を除き、変更しないでください。

④ 中継ハングアップ（セットモード No.26）
設定値：オフ/0.5 秒/1 秒/2 秒（初期値：オフ）
※機能を理解して意図的に変える場合を除き、変更しないでください。

⑤ 中継アラーム（セットモード No.27）
設定値：オフ/オン（初期値：オフ）

メモ 各設定項目の詳細は別紙の「DJ-PX10 セットモード」を参照ください。

6-2 設定値送信

※外来電波による妨害を避けるため、中継器に近い場所で操作してください。本機が満充電になっていることと、中継器の電源がつながることを確認してください。

・セットモード（No. 1）「通話方式」が中継通話に設定していることを確認します。
・AC アダプターを抜いて、中継器の電源を切っておきます。
・”+”キー、”−”キーを同時に約 3 秒間長押しすると「設定内容を無線通信します」がガイドされ、ランプが赤色点滅して送信を始めます。
・送信が始まったら速やかに AC アダプターをコンセントに接続します。自動的に設定用の信号を受信し始めます。
・送信が終わると、本機のランプが緑色点灯し「プルル」音が鳴ります。
・設定が反映され、中継器として動作します。
・本機も自動的に通話モードに切り替わり、子機として使用できます。ランプは青色点灯します。

注意 ・交互通話に設定していると、「ブブブ ブブブ」音が鳴り、リモコン送信できません。
・ECO 動作中（ランプ：点滅）はリモコン送信できません。バッテリーセーブを一度解除（PTT キーか電源キー操作）してからリモコン送信してください。

アルインコ株式会社 電子事業部